

第48回 泉大津在宅医療研究会 (iZak) アンケート集計結果

日時: 令和3年10月14日(木) 午後2時~3時

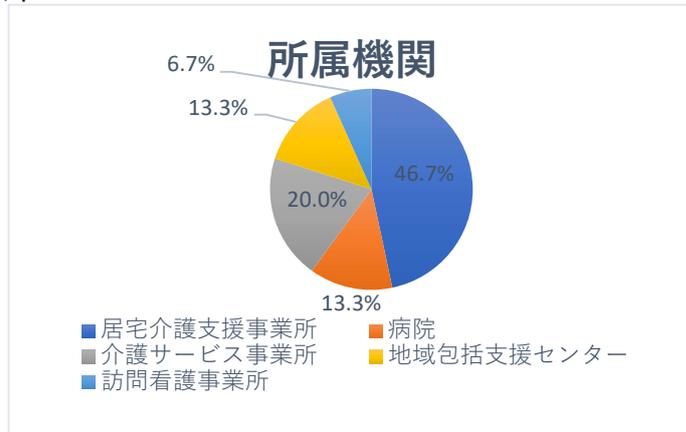
場所: ベルセンター 2階

参加人数: 26名 (ベルセンターサポート会場: 4名、Zoom22名)

アンケート回収数: 14 回収率 53.8%

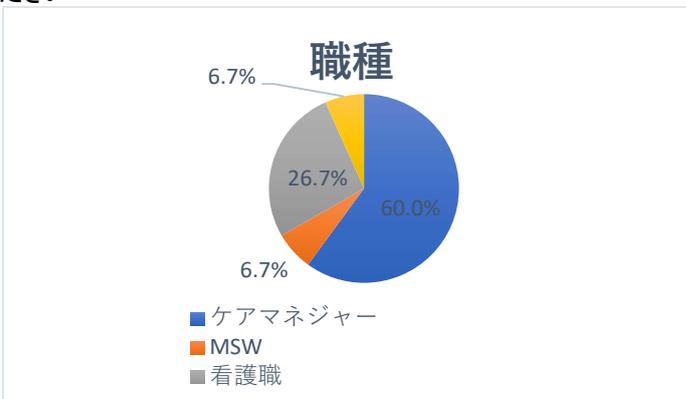
1. 所属機関をお聞かせください

| | |
|------------|---|
| 居宅介護支援事業所 | 7 |
| 病院 | 2 |
| 介護サービス事業所 | 3 |
| 地域包括支援センター | 2 |
| 訪問看護事業所 | 1 |



2. 現在、従事されている職種をお聞かせください

| | |
|---------|---|
| ケアマネジャー | 9 |
| MSW | 1 |
| 看護職 | 4 |
| 介護福祉士 | 1 |



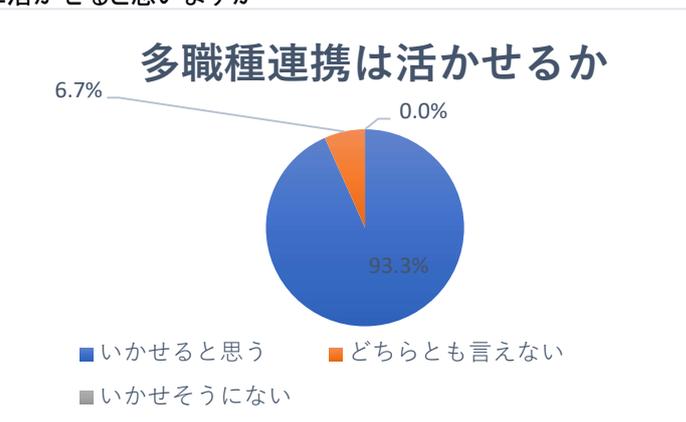
3. 本日の研修を受講し、「多職種連携で支える在宅医療」への理解は深まりましたか

| | |
|-----------|----|
| 深まった | 12 |
| どちらともいえない | 3 |
| 深まらなかった | 0 |



4. 「多職種連携」は今後のご自身の活動に活かせると思いますか

| | |
|-----------|----|
| いかせると思う | 14 |
| どちらとも言えない | 1 |
| いかせそうにない | 0 |



いかせそうな場面

- ・チームアプローチの方法。(チーム〇〇)という考え方を活用したい
- ・チームの目的が同じになった時。でなければ、今回の内容は活かせそうにないです。
- ・ドクター、看護師、本人、家族から相談を受けたとき
- ・私も末期の方をお受けする事になっている。その人のやりのこした事、気持を聞いてきたり
- ・包括でケアマネ業務をさせてもらう中で、在宅を選択する方のカンファレンスに参加させて頂く際に、本日の研修を踏まえ少しでも寄り添えるそして専門職として責任のある行動を取れたらと思いました。ありがとうございました。
- ・いろいろな職種の人と関わりチームと一緒に考えていくことの大切さを学びました。日々のケアプラン作成時に、視野を広げて取り掛かりたいと思いました。とても感動的なお話も心ひびきありがとうございました。
- ・ご本人のみ、ご自宅での看取りを希望した際
- ・多くのサービスを利用されている方や難病等の方の支援の場合。
- ・ターミナルケアの場面
- ・外来の患者さんお訪問看護導入の際、
- ・継続ケースや病院退院時にターミナル期と診断されたパートナーの支援の際。
- ・困難な事例
- ・退院からの支援や、障害の支援の場面

いかせそうにない理由

事例は興味ありましたが、特に実際にどう生かせるかまでは理解が深まりませんでした。

5. 本日の研修を受講し「ACP」について理解できましたか。

| | |
|-----------|----|
| 理解できた | 14 |
| どちらとも言えない | 1 |



6. 今後、どのような内容の研修があれば参加したいですか。

- ・自立支援医療や難病・高額医療の医療保険制度
- ・案内してくれる研修には、内容こだわらず参加させていただきます。
- ・今回の研修はありがたかったです。ありがとうございました。
- ・今回のようにたくさんの事例を勉強させていただきたいです。
- ・看取り以外でも多職種連携が必要な事柄や新制度等
- ・自立支援に繋がる声掛けの方法や提案の方法
- ・ターミナルケアの事例展開など
- ・在宅、介護、医療の連携の仕方
- ・今回は医療面での連携の事例でしたが、介護サービス(訪問介護・福祉用具・通所介護・CSW・薬局居宅療養など)多めの多職種連携について
- ・泉大津の地域のお助け支援の事例